に大統立するに「支那が呼び大動」 し大統立するに「支那が呼び大動」

結局が創的な方向に動くもの」と

側温しの単大肩趾下には邪

張學良は現在約十

【果然说話】大正天皇柳去

保境安民

多摩御陵 へ御祭拜

と述べお氏は鹿もに請酬、最早良も受験したので餌、意向であるが費下の意見如何

一氏、なは當分

此くことに決定した

土路趙戴文氏と即主権徐永昌氏を代表として西安に派遣の

とは全く欣快とするところであれた健在であるとの報告を聞く

清水課長の土産話 とになるから更に今後の注意を消件の性質に整み考察目の資経、非件の性質に整み考察目の資経、非常の性質に整み考察目の資経、 西部派長の百英四消費車件に開

は国人行はねばならのが技術者 ある 同時に相當工務 関係員の京城の三ヶ所に設置する改定で四月 良事務所を登山、平堡、 質決定の結異性である 消費者側の事情を加味すべく家 消費者側の事情を加味すべく家 消費者側の事情を加味すべく家

いて来たのを知つて居りますが、では恋にお郷様の起節は、後へつ 選技術を使って駿河部下へ来まし

等を逃げ出して恐りました手削。

「と仰しやいましても、あのまゝお

たので、うつかりして居りますう

行けと云つたら行かわえか。自 「えゝ何を辞々と云つてるんだ。 と云つたたり

「おめへ、独然は。頭町から乗つた

いやうにやア訳らはねえな。』 でんない配はエレなえがてんだ。 この例全が付いてるからにや、思いやうにやすれば、エレなえがてんだ。

מָּ

「和何さんにお目に

一掛りましたら

「何處へ行つたか大腿の當はわえ

「ふゝゝ。 何んで繋がいや なんておくんなさいまし。」

風

世

お赦しなすつ

喉咽和護

二 作

13

旨を報告後後に小川商相より最近 鐵道局異動(十八日)

適局では十八日左の如く異動を行

T立もわえッてんだ。 どつも道こ

「さずさと少きわえる」

た。もはやかうなつては音や膨もなた。はでかうた。正言は世全に引り立てられて、犬彼しに曳かれて行く犬のやうに見込みをしながらも、やがらないがらも、やがいないがらも、やがいないがられているというないがられているというないがられているというないがありません。

無限へて来城、南郷督と會見、正成館に闘する極田軍司令官の姓臨、政館に闘する極田軍司令官の姓臨、政館に関する極田軍司令官の姓臨、 温助を行ふことに内定した ◇ 定例閣議

午前十時五分首相意郷に開艦、廣「東京電話」十八日の定例駅最は

西安兵變事性その後の經過につ総勝)まづ有田外相より

木脳資長 同上

この選用率の深価については此間

器長空間に伴ふ遂任は大聖院松平 東京電話1張二大部院高長の検事

木村檢事に決定 大審院部長後任

行選比を起用十八日の開設に

午由九時四十五分宮中原就間に出 【軍政電話』天皇陛下には十八日

▲朝鮮人七八人▲前年向日總數神宮參拜 (十七日) ▲總 天地支黄

り施行、當然の事だが、 まあ 重要產業就翻法總督府主張通

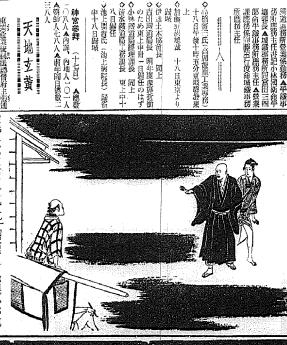
上かった

で立つてるわけにペアいかねんん 一とうか堪忍しておくんなさいましてまだそんなことを云つてやがる だ。おれてこれかり最々直ぐに寺。に据道に乗せてやるからの。

しより引から褶顔から、おめへの 無罪に 磯を 膨らせられた 眩苦に 選手からぐるシなつて、娘を んでもいよ、さッさと歩きれたでれさうなもんぢやアねんか。 郷歴 れにもちゅと原案があるから、何れこうなもんぢやアれたか。 おっぱ 選ぶつ ちやアいけれた 大縦垣 一馬鹿もいい胆誠にしれたか。 お **ら令となつもやア仕方がわえから | 張掛つてゐた。**

る関語屋に新を掛けた。 析下に蹲まってあ 人の朗へ寄けら

猴烟 削声音 0 痰



- 。も は、やがて橋回ふの御橋立くへと 「楯を渡りやア川道がある。直ぐ 行く所アなから 手順をこのま

| 大きで潤し、チカーキー | 大きで潤し、チカードーは口中で 喉がです キャンがおそく、題り道です。 ・キャンがおそく、題り道です。 ・カンケーパーは水質や散野でも キメがある新時代の個 聞になります。 と、歌歌を描かにし、音響は影響までムダなく、キ、メを影神 なくがドロップや節門でもあり ポンクーパーは階む必要なく最 ません こんな場合……

アレル 顔s后鹸 で見たと配入がは、こと は別ののかは 葉 生 こと はいのかける は まかい こと はいのかける は まかい こと はいのかける は まかい こと に は まかい こと に は まかい こと は いいのかい こと に いいのい こと に い 東京●日本橋●宝町 一個六十錢(使用為別付)

明透 久能木石龄

革命軍の軍艦はオラン神合に於っ 【ロンドン十七日同盟】 スペイン 蘇聯汽船を砲撃 劇戦を加へたと限へられる

子良居中調停を依賴 、特使を派遣 國家の利益とあらば 南京に赴き國民の處分を受けよう

石氏の側近に在つて勝分石氏の「冒打電し来た」 - 南京政府顧問イギ・子は第二次西安入り後目下蔣介 | 孤獨や思め相談相手となりをる | 他は右龍型において

夫君學良に對して

かくるかも別れぬ、改良計畫のかくるかも別れぬ、改良計畫の意格する像定で一部十六年度に完成する像定で一部十六年度に発展で一部十六年度に表現を報答の原幹を得た改良

でまだいづれとも決定してゐなりまだいづれとも決定してゐない朝報自
就道局が買收してやるか朝報自

時州主分「あかつき」で次の通り 水源道局上が部長は十八日午後一

明年度はごの

成功をうたらせ踏低した

副義道に里線の改良計畫 山鐵鑛開發 問題に

蔣介石氏助命を電請

帝國の方針を 在ロンドンの鳳至夫人から てみるが西安にあ

国盟】 張禄良氏夫 ライトンに確在し 石氏の助命方電調 同盟】 張禄良氏夫 ライトンに確在し 石氏の助命方電調

陽綠江委員會設置

ける打合せ會

近く李交通部大臣が來城調印

に伴う文那の動向に對し「間を受けた席上、我方針を左の如 許大使に宣明 きのふ外相を訪問 **肥緑江 駐前院団 皮重奏良選 設治 | 石はれた同等には朝鮮師から預総 | 理製田中住が出路して、鮮海院団**

継杯を電産してあたが有山外担は「饗堂するところあつた、即ち許大「日 午後の時半から「本府 総香堂で「母し海洲國南から航山東部令衛代」な解議を行った、その結果変え、演奏の主きとに報酬で組織が対する決定し共「く端館に宣明、國政政府の遊園を「に職する 質質的打合せ 流は十八 | 質、胆川外事器長、颗粒酵原剤用 | 支票支貨簿の組織に購して其組飾

(単京市話) 政府で監察員の蔣介 十七日午後日郎に許支那大便の許

滯歐靜養せん フランクフルトに滞在中 は目下プランクソルト北方の鑑呆

低には唯へられまいと見られいづかにまかせぬ様子で剛羅の牧治大 跳つてゐるが空石の摘出手術も思 国政府から帰国命令を接受したと

一般表し十六日午後首陽から西安 |南京十七日同盟||國民政府外交||安より國民政府に對し 飛んだドナルド氏は十七日囲西

ドナルド氏より打電

孤獨を慰む

方調査の結果部と小七日に至り氏一郎へられる。G最は活用歯氏)が氏の駆虐は声として制助せず百一外に今郎く振器に異念する意向と

や「青年支那」の希望は前行政院 長狂精術氏にかけられるに至つた

行きれる頻整越質問としても腰根「八度國に婚加するものと感質局經」ゐるので感質質において目下大經「綴の作製を急いでゐるが外に對しから公表されたが同一動便法の施「初期の原質自世の國を單名で百世」とを鑑測とう。「聞の感解を撰て「その朋途に甦ては日下各鵬で其體動便利金の配上はは十七日越信省」も實施させることになった職態上「地感讀者の詩光学以上を選んする。國に景光をお言って努力してゐる一動便利金の詩光学以上を選んする。國に景光をお言って努力してゐる 還元は百萬圓をねら

|行される顕彰總盲局としても腰型(人の壁でについては巡督局と本)の二方決定すれば河平で、遠元郎(しては経寛戦の舒胸敗善に石器)の対く同時に砲上げが質値される。 埋職では足である。とこ方が戦智 常局との間に受動中つ遠元率三分。ては連員を鵬の機允権化。内に封わけであるがこれに任まれて戦争。人の世界を急いであるが外に對しているのと総督局を

標事正の異動も相當範疇に行はれ は日下謎動中で之に闘城し極事長組織と足した、木村氏の後低幅光

(最も注目せられてある) (2) できの向

任檢事補檢事總長 维三位動三等 泉

蔣北石氏に危寒を加へずと何 一度ゆつくり苦へ落着いた上、和

のが一番だるあてもわえば自中を、何とも担談して、とつくり巻へる

大下に有名な犬山城は姚い 私は愛知縣大山町の生れ

氏が桃太郎酸生の地は大

ろを反省が肝要

3、巖谷小選、島居龍三

ふ名語の地が

犬山よいとこ 人一話

側断で有名な日本一の続大

た名歌である、それにお

だ山城の阻近に硫離村、鮮那さんは犬山町の出身です

別に何んとも思ってゐなか

いから見明れてあるせいか たが、よその城を敦むく

胸首席になった「犬山の城

性、億力石嚴金影響事性、東亞 脈事性、阿那定事性、神兵隊事

召田町郷田事性、帝人事性、

なせえやすら

用答贈御

The constant of the 咳、聲、咽

がてるノノーの頃がれノ

經濟界の語説で香頭店町も生涯を

店員講習會 一月中旬開く

稲田元埼 圡縣會計課長

文書等遺行使詐欺横節罪として送きり調べを行つた結束気に撤っ公 取制べの上、浦和岩に留置、引鉄

事件の内容
この大声

以

七年間の巧妙な惡事暴露

一郎山、奈國に手配して福田の行方

ノ合併合「たまと」方に磁伏中を一

國境。の子供らに

開門根収長館職は午後一時から

歴収入界試験も 現府内の各種店は半島商人のパロ それに商業知識で半島工業の問題。に困るところから7種族所行を志願集學校入界試験相関も大いに改 のいゝところを見せてあるが、京 ところがあるのは京城の船であり て来城したが、脇なくその目の種類が大學試験相関も大いに改 のいゝところを見せてあるが、京 ところがあるのは京城の船であり て来城したが、脇なくその目の種

メーターで近代サービスに続ける。も知らわば一人前の顧人でないと、黄金町で自砂車を構んだが良心の

一十五日城大陸院で脊脳カリエスと 君(ごは一ヶ月明から航失を病み) 京城市機町二一〇殿行は、帝田清志

機直もに埼玉縣飛串線に遊送、原題、埼玉縣の那事が協力して

會議終了後 富永學務局長語る

大賛成だ

ルを聞くて 「私はこの自職事を盗 所にみ すぼらしい 少年が 古自嶼

がしてやることになつた。同情に連択して釋放、何か職をさ

鋼路器ではその身の上に

ければなられので悲観、自い自楽

西州 御壽司と御重詰

十七日夜九時ごろ京城光化門派出

帯資に堪へかねて自首しにものと│診臓されギブス・ペッドに入ら

職を求めて職なき哀れな境遇

目轉車を盗んだが

少年は全間が開都山二面地上谷「

態度を不能に思ひ取制べたところ)―假名―とて一ヶ月期職を求め

重病をやんで

青年の家出

内地方面にいった様子で、女人

みて約八十四を持つて家田した、 で十七日午後七時ごろ家人の隙を

想的な教育實現 兹に高等、専門校を最後に決定し 愈よ 明年から 入學試験改革

時学から本府第二動源語で開催したが、参賣した各場門學校長はい出、價重審測した高等邦門學校長賣職は、既熟の如く十七日午後一 針でやつて遊びたいとの重要凝集を提 した大悪的政策方針を採り、同時 て高等取削競技的観光度の一大戦 「機能機能を明年四月からこの程神に基いて大敗主を行ひ、學館は「まで将昆館群立で商人教育の課書」であたが、京城景観町二五六道果「と自白してあるな人學が凝縮度の全職地に計功し 「線に送り出すことになった、幾つて 政門が反応に 大學協科の人 原東りで明礬一月十一日から廿日 き管内会説に亘り機宜内室を行つ れたが異立英にかく解放地域と総辞に1つて中等製 「戦地の人態記述をモットーとして心具優秀のパイロットを軸軸の第 これが製成のために指動業派が音 「動を摘修一般的法院をしまった。

日開治の出来た立派な歴主、生徒の造成を目指し、思想昭寛、質賞 の教育が針を断然派して國民教神を刑遇する遺背に軍監を置き、人とれる本府の提出職系に資源を表し、その結果明年度から習責俑重 **水本肝學的問長**) 等、以門に至る一貫された世期的な大敗革が行はれ智育、懲資、體 行する機厳能した、これによって全難の敬音方式は初撃、中等、高 態腐した平圏、大助南階和や全鮮の各基立県門県校に関しては十八これを考査して入學恵願者の第一領性とすることを申し合せ、常日 殿は平島にし、ロ類は間と難格検査に重點を置くことになり、 日富永県将局長から曾議の決議事項を通知し、 に従来を考程性であった中等學校長よりの成績の申には最も傾重に 育の平均化による理想的教育が置行されることになった(葛萸は富

偽藥種商

は百名で一月九日までに耐樂

観然派中を十七日午後十一時本町 | で儲けたものだらうとびしも魅ひ下げた美人と譲つて厳策階級を開してゐたか、同院たちはこれを続 れたが最近英は真操を題けてあた 頼つい、外八名は異貨数でごの前壁に変名を置らなど観然な金質のを放城太平通二ノ三〇五支那人場際の襲数を次から次へと落群。各所

計を信受け、自分が安局番になり 支那美人も混る 貞操麻雀賭博

脚目は「から突角質」となる物の製態商数(検察された | 此の外通数の製態で数にも実験形式を開催することとなった。 断縁 | 均(ま) は明和九早十二年廿日ごろ | 煮んでゐた事が視覚され十八日朝 | をもたす数さしがってゐたもので STATE AND THE

ーP リ版行に 一P 製型ルン

值以以

四十五円の五十五円

P--78

綱打盡



型点源源

THE

マヨネーズ

雷冰州

はリドール流行歌の報報責に十二個 名曲工手(相(アペス・位) 離れが、京様大平・大者(アペス・位) 離れが、京様大平・大者(アペス・位) 中川県・大学・大学・上京歌・公田宿日 明中県・ナッズ・ボード・海龍寺・月村 中県・ナッズ・ボード・海龍寺・月村 中県・ナッズ・ボード・海龍寺・月村

風の緻靡を浴びてなりますが、俄四報により成力を

計}

修理

著音機、修理の

の

それは

をに修理され なる技術者に 依め合理的完 をである工場

るからです

の増具化

♥┉明日から明治座封切豫定

正月の御用意に 不意の御來客に

開の豫定であります、第二報の内容は 着、明十九日から京城明治座に封切公 する同ニュース第二報に早くも本批到

御贈答に年末年始の

もで計時い悪の合工なんど もで機音蓄るあの障故なんど る 來 出が 理修に全

最適

品

す 知何なる材料 間に合ふ事が に取前へて も直ぐに御合 はまずの場合 はまずの場合 はまずの場合

义局または間西雄宛に願ひます 風呂場の恒突から越火して同家の

即つてある時計があ

+

ったれ、第二部石口野部の取削を受 けてゐた現論測成引所理事長元束 果京征話】東亞加度開始C智伝 六名收容さる 選手を使いたが買に京城消防署か 自動車に轢かる

> 觀地後屋 リース本師

利用し原年五月十五日鴻池信託しら十二萬別売詐取したのに味をしら十二萬別売詐取したのに味をしくいます。

同長手数で機械部投印を審用し、頭巾ケ谷地停所に敷容された の名所代入衆が借用部書を修道、使吉良、で外上名は市場町村市機 か名所代入衆が借用部書を修道、使吉良、で外上名は市場町村市機 かる所代入衆が借用部書を修道、使吉良、で外上名は市場町村市機 かる所代入衆が借用部書を修道、使吉良、で外上名は市場町村市機 かる所代入場が開発部書を修道、で外上名は市場町村市機 かる所代入場が開発部書を修道。

|工第十石(元)が軌道を掃除中、公通二日本生命ビル即で宣電軌道機中、公理・十七日午後九時四十分京城南大門

には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	京城地方 [今晚] 北西の	髙	平北 有同 娘には暗	平南 石同 始めは風	全 南石間 彼には隔	思開北上路る選及には暗資・海(西万至北 始めは銀	全般天氣豫報	宝、東西に向ひ彩光風通など中A なく完確してある	の股傭が施されてゐる病室は十四た三所建、医療思報の如き最新式	へ移動した。近代建築の粹を集めの處落成したので去る十五日新館の處落成したので去る十五日新館の最初の指す。	びでは、日本の一番では、日本の一番では、日本の一番では、日本の一番では、日本の一番をいる。 日本の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	生命造務	歴院に搬きこんで手觜を加へだが助丹六本を骨折直ちに座志町路馬
がる なる	西の		がなり		当	征		3			詪		語本
	* 1	☆屋 □ □ □	\$ a a a		ケーキ	プリスマス 英 子	食者	1	ります	種々取り揃へて居いた御道物用品を	○御家庭向の氣の利・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○景品市大質出し	
		\cap								Z.			



| 取り応し異点水の子と出露に両子| 【浦和田帖】=十七日午後「時記」事解釈・陽の際記郷技が彫棚を選してある非質を申出たので然に検察 用、前後七年間に回り公文書を修置し百萬回を詐欺権領してゐた縣 史未曾有の不祥事が難、當局を大 去る十一月上旬、埼玉際僧祀郡内狼狽させた事団が埼玉寮に起つた して解制器長事務官。原田清次へ に公金役前の風流が辿り選任者と 頭し同氏に帰名戦で百萬國協通し が鮮裘を提出、同十一日付で諭旨 疑點を避脱したので直ちに緊動

福田は一部を司鑑いだまく十

検査を行はしめたところ歌多 は石川新倉川派長に誤海の特 **仮**異如行方を脚した、麓いた 務を引編ぐことになってる

満亡就に強いた預飾 信

活躍してゐる警官の家族で子供 林源六路は國境整備の第一線に

○京城丁子 第日最店主小

寒冬に汗をかいて活動*** ◆……こくは師准を殺も反映さ せて々忙がしさ々の脈場だ

日まぐるしい、蜘蛛の巣の様な

換版と専型の火車を取らしての

一切するので、 既直局ではこれに 総職は、米の明和十六年度を以て一の新散機の中には新に蔵具、中江一〇月日日日に建立・産業明皇の松韓をたす総第十二年一名方面と内交談を辿めてゐる。こ一るつて、同概は非米新聞配鑑道と

中鐵道實現か

朝鮮の鐵道計畫順調に進み

早くも第二次計畫豫算計上へ

鼠を結ぶ威中能道の實現性が置厚

ならは様で、蛭南で連の脚期的新

嬉しい贈りも 小林源六翁から 程、本析監務局に元其二干量の ◆――◆藝務局では大いに終び るので、これを慰めるためこの 部に一千二百個、咸南最祭部に その影響が其を十七日平北鉄祭 一節さん(こ)が観解所をのんで苦悶 中を家人が徳起、仁学町申必浩隆 十七日午後三時ごろ京城貨物町一 八流城岩語妓生李英語こと李 妓生自殺(未遂) 戀に使わて

はせる筈である(鳥属に小林節 計占萬圓を新

さく(こ)を始め大宮、川越、東京一二時五分他町一ノ六六料等京和等

の間の態度関係が使れたため 京和亭出火

彼女はこの春から妓生に出たのた

院で手當中だが一般は成正めた。

全般天氣豫報

・ 東京に持る超特度品 ・ 東京に持る超特度 ・ 東京に対象で表 ・ 東京に表 三十九八二十日分 三個人化粧脂あり 三個人化粧脂あり

朝鮮總督府尊竇局製造

間所は暖煙時間遊 京 城 本 町 二 丁 目電話本局(2)(〇四七二番・四三七七番)へ電話本局(2)(〇四七二番・四三七七番)へ



































明あり、折角締引つた於之屯次振

何處も火の車

一日間に廿六件の支拂命令

海州法院大汗ダク

沙里院】十六日から十七日にか

景氣の裏を覗けば

低月二十五回宛を缺がさず郷軍平

酸として整九年一月から四十ヶ月

武町港ホテル主人入田修二さん(三一部が是めるまで留置組入り

【釜山】十七日午前一時頃府內大 虎大あばれ

部叩き燃し手がつけられないので

赤龍が龍鬼、膨へて削削出所にボケットから二十圓をスッたの

渡したがこのチンピラ係官

大成となって自動車の窓側子を全、ドケットから二十回をスッにのをて繋込まんとして運動手と衝突し、六九一条膨散さん(三)のスポッの、の発動を表して三のスポッの、

の維踏を利用築州郡光山面九郎里

六日午前十時十分與大邱縣待合出

自家用自動車を貸自動車と間違へ

関の際六ヶ月分を会納したのでこ 年四月をもつて補期を迎へること 運搬合分館に国来活題をつゞけ関

なってみたが本年十一月分の寄

暴兄に死の抗議

喧嘩して散々殴られたうへ

怨んだ弟が猫自殺

在郷軍人平議職合分館では同氏の

に所知の一千川岩脂が終了した

國民として遺憾に思ひ昭和八年十 氏は男の子がなくて君國に強す肚

を出すことが出来ないのを日本

月泉太子段下御除誕の佳辰を契

五十郎ミリに進する時ならぬ降 於之屯狀は危險

が門も流失の危殿に触し状組合事

薄氣味悪い

戦率地方は

意外の豪雨

なり十六日午後五時現在の雨量七さであつたが十五日夕割から雨と「穀幣」こゝ数日來冬知らずの暖

「護州」 海州地方法院民事部へお「十二戦のウナー戦は金行業の分、」に観記代議院があった。 本戦が優勝行政言申が既で襲り二一戦略令は百十歳戦に及び年表だけ「戦闘フてゐる皮原な世祖を 本の内緒は、から 十四日までに豊田された 支 火の事が魅ってゐる皮原な世祖を の中が出りてゐる皮原な世祖を

なつた

光州の恣難 [満]

六日午前四時頃街内光山町沿岸氏「黒銅鐸(こ)と「男吉峯(三)=何れ「どい兄の仕打ちを深く想んで達に「手倉を加へたが登に

ヘッチ、小姿等)の被害を受慮し

海州は豪雨 雨量八十八ミリ

出した雨は素だ降りやまず気狂ひ

嵙

日

珍らしい師走雨

平壌地方は一日に四十五ミリ

行するので。街の人々は 戦々第一来すると製測所は打心

出水で交通も杜経

寒い冬に閲覧機束すると繁発病が一夕刻頃から雪に辿りやがて寒波製って大霧りの態である **鉱温に面喰つてゐる、由來平별は「現象を呈してゐる、なほこの雨は」全然社総し果物の貯蔵者など朗れ**

は十二月とは思へない季節はづれ【釜山】この厢三日来の釜山地方 の慶かさで十七日は朝來小雨を降 釜山の高温 測候所開設 以來の記錄

非常時愛國美談

肚丁を出せない代りのご奉公に

までの雨間は四十五ミリで稀有の 各地方に通する定期自動車交通は

| 本郷| 十六日からシトー〜陸り | 本、十六日 正午から 十七日正午 | 日晩まで降り銀く紫雨で汶山から

あとは雪寒くなる

(**)は大同江東岸に際いである平磯原工長式資祉所有の黒船から石炭二、「同署では命罪を敷け、「中原船と原が発け出して運営した。「同署では命罪を敷めるものとにらな展正東岸(平遮岩とできるという。 米檢の瀆職

味に判決

七日午町十時から釜山地方法院で 【釜山】米極河駿事性の公牧は十

荒墓裁判長係で開廷左の通り物決 | が質強消防候の必死の消火が功を | 三戶全燒、一戶半燒

ちかく發明協會から表彰 年十月特許を得た、徳明幽幽ではこれを表彰することになって年の苦心臓ひられて完全無比な「可効能』を説明し昨 すべく昭和八年のはじめから研究に研究を重ね型九年堂に として双た一般の不安を一掃する意味から完全た能を作成 は直もに調査を回答したから近く表形される権様であるりこのほど平南道産業職に開査を低戦して来たので同談で PYの島東三洞張道伽長女連順二 ▲ 牧肺欲役四ヶ月(未決 通算 九銭 元米検技手筒木隆一(*o) 少女溺死 [※1] [※ 南部の銀座街で

(日曜土

泥棒泣かせの錠

窮して通じた無名の青年

一年の苦心で完全無比のものを發明

域が死亡となって浮き上った はれて行方不明となり午後二時半 海古を採集中裁つて遺に足をさらむ。

じめたが健康の壁は構造が不完全で協能にからることが眺秋を四年で退退して祖父時代からの家業である鍵製作をは

くないところから家業も不振になったのでこれが切扱け策

飛明して近く緩明脳節から表彰されることになった話―― 「年塩」無名の一番年が泥搾並かせの完全無比の / 錠 / を

主人公は府内箕林里金草學指(三)で同君は大正八年普通學

元山の火事

し州益仍人で無別数だに属せられ 高君里大山無門梁郷次共八六と雅 取押へたが右は

道門河東郡化川面 質面館林里邨客を徘徊中の個人を機器に弱めた結果同日午後五時佳

現、既女を育して五川を開称した 群山では珍しい事件……群山器で 【群山】その脳の不眠不休の観壁 煙草店上山清人方に根理り強盗出 歳末勢版陣を突破して大戦にも去 の十五日午町三時頃街内新門町の 難なくご用

【元山】十五日午後十一時五十分|禁し、十六日午前等市五十分|株|の野田東省||「元山」十五日午後十一時五十分||禁し、十六日午前三年の大会一様(歌遊歌歌、殿座の三百をもた近に包んだ。の火の不始来かららしい | 「一下大台」 | 「一下大台) | 「一大大台) | 「一下大台) | 「一下大 路めがけてとび能り逃走を企てた 一晩石足を大怪我した府内里門里七 内三中非首保店で平波署山本雅事 「李娥」去月廿八日午後三時頃南 に証何され、同店門階窓口から街 は重大視して徹底的に追溯するこ の避銑物釜の個人とにらみ同署で

門所領鮮火勢総開館和平成党業部(武大・東ン無風のため延続は発れたので、先月廿二日末明府内南(武大・東ン無風のため延続は発れたので、先月廿二日末明府内南(武大・東ン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

騒ぎをした、擬器は紋一萬五千 様である、なほ五百餘名の見番 程度とみられ、出火服因につ たが市館の中心地だけに一時は

とになった

少年スリ公

稼いだ礼を

口中に匿す

當が品景大のみ好御記下てに籤抽上のそ尚

ドセセツ 掛 け「履ルト召

在在具地一定 大下で、当窓属機一位 大下で、当窓属機一位 は、一定 大下で、当窓属機一位 は、一定 大下で、当窓属機一位 は、一定 は、一定 が、一定 が、一定 が、一定 イ金 卸 附 外 一夜 異 は R金卸附外套 で 具 地 ル 人 形 ル 人 形 ル も 屋 棚 イト(懐中電燈)



| 「日里」「五字正紀」とうに押し入り | 五犯高政郡生れの郷日葵、ごといる総称生物の郷日葵、ごといる総本のの場合では、日本の日政で大同郡古平面記。| 州池が所を出所したばかりの前科「日本」「北京の

調べ中

凍傷の勇士慰問

たものでなほぼ罪ある見込みで

た衣狐を殴分すべく府内に耐入しは十五日後傷面小川菜方でい取し れ住所不定の文編述(よ)と制明上ころ果して則形六般歴籍金海呂 米穀専門の曲者

柱巡査が呼び止め嚴重取調べたとを径しと睨んで同所派出所許金日

正町を徘徊したトランク所持の里

前後十三回に亘り荒し廻り

豪奢な暮しから足

惡の華亂れ唉~年の暮

調べの結果、去る九年七月十三日

見た

|時船中で用ひる庖丁を携帯|

釜山に食刀强盗

假出獄中の强か者

廿圓奪ひすぐ御用

あるので、平原署で不審を抱き取 | 勘避つきてご用、前記の事實を自 は光般来身分不相應の鑑賞をして「影響を聞き運興に消費してみたが

里一六四の成利根こと成而孫(こ)

その後十三回に亘つて穀頭制門に

【光州】十六日午後八時頃府內大一

はたして泥棒

キ印を装つて

强盗を稼ぐ

舉動不審男

下端里、現住所中和里居井面松湖一來たため登に目的を達せず逃走、 したゝかもの、本態大同郡古平面 | られ附近民家からも大勢人が出て

で枚二ルテッレ

る贈を運福 王覇の界料飲强滋

演

大パ麻古 レット 液

八ベ ビ 端 I

米屋主襲つた曲者 被害者の機轉で繩

がらも、なほ犯人を見行して平振。せてゐたが旅眺ある見込みで目下走したが廬の弟は恐怖にふるへな「病毒をよそ任つて保険を手こすら 署の附近まで來て、泥棒な々!と一般重追蔣中 れた際根據を飾ってこれを製打進一職魔泰師でしと言ひはじめは精神

を顕彰して立去った、所供数川雲 であるが厳罪ある見込である 置血流溢が押入り収金二十二回版 て以来の足取りについて声調べ中

影響では直ちに非常手配を行って

直り强盗 群山にも居

逃走途中で

形降り怪漢

獵銃窃盗の犯人か 平壌署で躍起追窮

|してゐた壁のしたゝかものである 羅津の朝火事

光成學校燒~

小銘オ本フ織ク 學 リ ラ物 I

一般に交渉中である 部を借用すべく校長申録奉氏が呼

る日もくる日も **◇……【翻南浦】** に関いので吉田米

毎月廿五圓宛郷軍へ寄附

典里米覈賢是商興田英一郎氏で同一庭け出たので光州密では直ちに犯一便局長小川要式郎氏が乗って来た

人搜查中

や君九月の×日いやに暖いわこ

ると「これを見給へ」と出した も九月頃の気温です

主人公は職番色自尊単既行五の長(三医院りつけたが弟言奉はこのひ)が親記、直ちに附五の病院で贈念って足に抗離した事性がある……。ことから日謝を始め兄は弟を二、「類類イラズを唐下し苦閑中を深人の「日山」兄に眠られた弟が死をも、長名十の兩人で十数月間歩孤な、自我を決心、去る十二日午後五時 上三機嫌さん

登り先昭和十二年四月一日前後

一、 (大部) の黄色 い包紙のレッテル 文化 (大部) の黄色 い包紙の に 大部 の 黄色 い包紙の に 大郎 新春 に て を と 上 を は の ま に へ な を か 下 き い 。 の 大田 を い た し ま と 上 は ま に て に な き か 下 ま と き 上 は と に し ま と 上 は ま に て な き か て と 上 な の す に へ な を か 下 ま い で しま に し ま で し 通、廣告取水社員文領館正千口一組、抽塞落製各組共一口中征に抽塞祭一枚早上一四日本に抽塞祭一枚早上一四日十二年三月五日





(7) 地境。蛛趣

めんとするもので、11ヶ所に於け「毛の紡織駅に眺鎖の紡織等の機械」に使う目標とかど出来つよある147、単ばは昔の旅行を知らし「い何れの定期でも帰花の続編(4)であるとか、高州電極の火花放電で観戦とた。これはつまり半は『一ペー賞目の方法は流滅されてゐな』方面で研究中であり、団戦時活法で観戦した。これはつまり半は『一ペー賞目の方法は流滅されてゐな』方面で研究中であり、団戦時活法

収材が担当にあるか | 國語新讀本の內容改訂に就て|| 文部省圖書監修官

明を始めとして其他諸職の群明物。また理科的方面では飛行機の群

りは、図る側段を設け取る標準に やらに記した、天空の事、即ち天 として 北の屋界を観測に 役立つ

秀作を決定した

こ◇と◇し◇の◇洋◇酱◇回◇顧

て終とする方法が出来れば申分な

に適當に切断し直ちに撚りを掛け

プランス作家が選作を決定した形 | 微の影響を屋膜したものといへる合年の外園映画では結局四人の | だが、いはピフランスの金利生活

新和紹介

どこの意匠でも大賞 難しても、一豊何をくれるつもり十二月になると、 聞く入つたのだが、さて原質を見す。 しを始める。年末なのか、目ぼしい景間らしいもの

考へると慰証のステーブルッアイ

クし月下島は、玉房の南監 行の新春映画「花館の歌」 「花娘かるた」で大流観音 町後節で完全にカムバッ去る1一月大船に復興新進』 子は約八年振りで 趣、蒲田の間村文

)洋畵ニユース 0

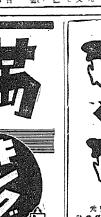
って額数な洗ひざらしの理性で極

趣味に現れるもの人格であり、

過さんは、勝狭をさしてゐる時の

解される、脇さんの許を醉して

花く咲に胸



し下さい。 此の薬で早くお治ます、軽いうちに



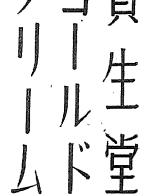


作創の粉白な生好な

すてトツレバの美のたなあはれこ

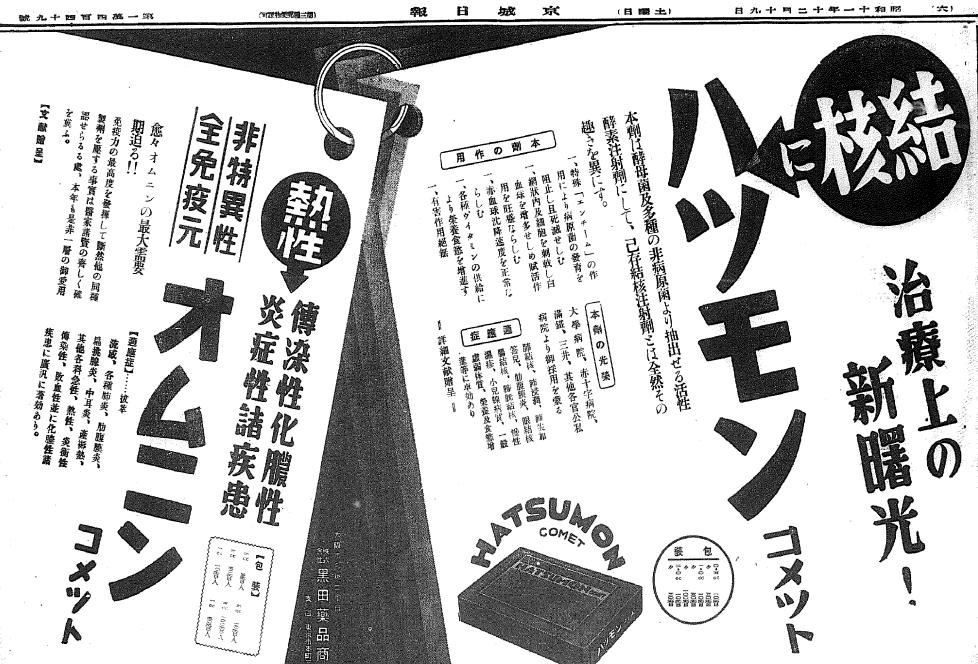
理

情女



るなにしなイダが肌おいし美のたなあ るすにから滑へ整を肌・ぎ防をレア肌 ムーリクの判評たれさ化乳に全完も最

螂 堂 生 資 京東





柔な咸觸! 高雅な芳香!! 粉雪のやうに美しい色!! あるバニシングはウテナ る……こんな特質の どんなに寒くてもお肌が 素晴しい美白整肌作用で 以外にありません…… いて確か二倍は永保ちす レず、自物が美しくつ

驚異的 收され、 艶しい若肌を保 栄養を與へ、 栄養はそのまゝ ウテナコールドでマッ はウテナ花印に 完全に防ぎます。 ジしますと な滲透力のある 製地みに ・お肌アレを 限ります 令でも艶。 皮下に吸 たせるに 豊富な

避化 粧下に

うラブバッシュ



一清元

園

一个日は が重い ボンヤリする

讀

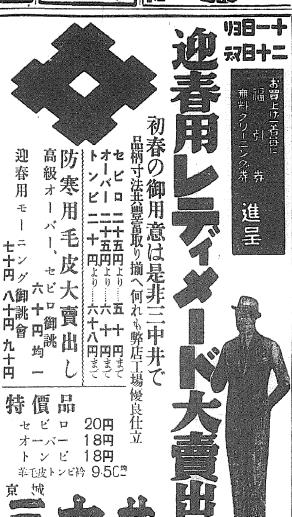
が進まねこんな時に

許特竇專

工事 請負

伊

神 神 神 神



の崩治座を飾 -12月19日-20 渖 婚十分前 21B-- 22 144大船 東東南非 たなわれの維納 238-24 松树大船 **君δあるかに歌/** メトロー社 쾲 258-26 276 寁 化

美しい要に見望れてみたが、やが 杉川和太夫は、幸吉の妹お花の 主従の縁(四)

ですが、お町さんに娘卸お花さり を臭れん かと 玉はつしやる のち

金井蘆洲 勇

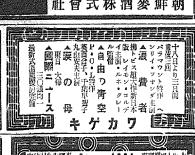


卵四

個、

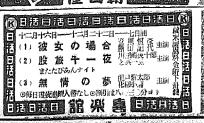


















冀察政権が首脳部會議で決定

議を両手航軍協議の結果 時でも恵んに人質となる影政権としては歴々首脳那會 下の意見を聞きたい、 秦德純氏が加藤参事官に言明

保境安民主義を娯楽収耀の根を思う傾面協議の結果

との広報を建

した、膨より返電あ一概で西安に引つた

人質となる

氏は可学はの誓論を答れ個代表と

【上海十八日信盟】太原建支那例 徐永昌氏西女へ

よれば、山西省主席徐永昌 八十年明十二時太殿湖北行

らば土澤姓氏に西安に強い扱心で

力針や強化

郷文氏は所行物において支那記者 氏野の出迎へを受け同直して中山 門外の孔流、智氏腫瘍に入った、

記録されてある個様

削進命令を下す

南京十七日間盟」国民政府は本 **昭建令を以て左の如く仏能した**

がける太平洋の防備に営及し次のおける太平洋の防備に営及し次の

局部長中最も重視される価値を見 に動物の運輸がない

の規能として

の事態に對處するため海軍力を

大日夜海軍戦闘の選出すシントリカ海軍戦闘の事長マーシ氏は十リカ海軍戦闘の事長マーシ氏は十

先決問題だ

なほが、地局長に決定した森島氏

万ドイツ大便

が野西

苍龙 守人

裔

米綿業使節團

兩司令任命

中央軍四安に進學

共産主義は絕對排擊

撤ではこれに呼越し近く実質元氏の代表と際氏の許

一般を改長宗哲元氏の下に代及を派遣、西安平代実【北平十八日同盟】山東省于原籍後史氏は過日英祭

氏渠復韓

張部長を訪問 須磨總領事

激越た指跡を難け割子も極めて思

前説は野学良に針しては努めて 西安東地に開し放送した。同政 廿二日マルセイユ出帆のフランス

孔華熙氏は十七日午後八時四十分 【上海ナ七日同盟」行政院研究長

闘して西安事件に

分削南京中央政泛局上

低性が動物的態度を持してあるが、一、一般升人範別安全保証と対策ができる。 これがは、当時のでは、一、一般十人範別安全保証とれている。

市長素値純氏を訪問した際、柔の與日方動品化を除いては外國国

にも通告した次第であると前った 石の観悟を揮行したと既へられる た末寒紀天人始め君羊文、三五曜(御の留守宅に出現を寄せたが本月」「紫宮飛行場に動者、辞も無れてゐ」とになった汗精術氏は、十八日上

八日午前十一時館京 め 別別より 急速 写図の途につくこ

【上海十八日同温】 西安事似のた

上派着の豫定 一月世二日に

蔣鼎文氏歸京

學良討伐の爲 廣西軍が北上 白、李兩氏が通電競出

李宗仁同氏は十七日夜周兄郎。海十八日振星特派員被〕白沢 十八軍長隴車英は、四南軍の 開診ある冒瀆明、中央軍に即伐のため顕西征を北上せ 連名を以って通道で設し

張に面會申込 |竹月年、鏡町之の三氏は

、開風山氏に知る謎した電報と容 北平十八日同盟」歴史良は十 叛亂後張が閻 に同意を求む

多大の反響を興へた、即も順正に



防備下

氏との間にも或権の演群が成立定に関し密約成立、一方宋子文

2は香港を基點としサイゴン、この他 英柳 和蘭三國政府間

一切の物的資材を展が一日本人指殖目的

を無任して行く位の気持を持つてあることだし、それに お七十茂管の石巣をも間がに出むことになるのではないか 間面を環境組織して議官に出むことになるのではないか との観測を下してある由

るものは動功範旋飛点と見做す 第六、 動選 議員証前に 関す功により投解文は健僻せられた 「総めること」 おめること

有病者各同的中より選舉する

通りである

る、この方面に於ける情勢は次の

【ロンドン十七日同盟】ホーア 両 | 胸にイギリス戦府は一九三七年

軍事施設を着々進行してあるが更 前の南支南洋に亘る明伽上作に相

央集權から地方分權

換は必至の情勢

東の韓氏は冀察政權と同一行動

北支兩勢力の動向は注目

便所の待遇郵便局と郵

任制巡山西路来過小總司令

記 間 なほ砂砂水がつ用がに高っ野ったる

孔祥熙氏



要要

丰計

BE カタログ進呈

御注意 電気器具 約 發賣元 針五 金剛 版替电京六一一〇二番 電話日本間(日間、日日

曾議

祭利殖

へ気大沸門大勉强賣買」

脚しては、心在C市所となってゐる都長

問題は内積相の軟化を関うす

入目朝天々西安に向け前地館令を「花西安に迫りつつある中央軍の歌」で再安に池館中である。 (上海十八月前盟) 討遊鏡が令回 下した、河路の衛所、野紀同南氏に對して十一に総司令部の組織に着事した、河上第二帥司宗曾中小陝西省堂を基とした、東西神路地獄は總司令に置。十七日開封館令曹海隅に對著載む「れつくあり、一方甘鵬省に従った」上海十八月前盟」討遊鏡が令回 討伐と安協に關する 國民政府の

"カ縦薬店日使節脳一行は、いよ||ニユーヨーク十七日同盟] アメ|

認識してゐるのであつて、との頗る難事であることを

一月八日横濱に入港

【上海十八日同盟】國民政府は張 學良計化令を強して解然武力解決

ージを寄せた、黙言左の通り

二つの立郷をとつてゐる、第二中央は今回の事件に對して現在 對する武力討伐がそれである、は阿家的立堪であつて叛乱者に

祭において内外地合計州西国を契を配位することに決し、明平度撤 本部組織

e b

L

し何五時年散的一時半上り外相

(日本軍部教政

しめ 次回は

の如くで領部が民、中南米和畑、とするにある、その機構は大要左離。に比問すべきものたらしめん 見るなり一分のに来る解散士や 本次々と原軍

71

顛走

と例の雄いでチェ 型も御承坦の標れせて▲ Tやあ位 の定員が少く、 つ諸君C理解 しせ、

9 .ea

呈進代無 本見用備準格合

7 軍看主掌機水整偵川 察年 樂護計信 儲練航 習空 年五兵兵兵生兵 八ガキで申込め,

関係の際語をふり相手がまはす図 んの母上へだが も手にせれ郷心 が催んにキリス スクールの年齢 本ところが にされてゐる機 た▲でもこの見 だせて良い調料 め、前田検事 るだれなん のほばがも少 で法務局観記 しなんとかな

局長を駐開公使に強極せしめる 長級失動の第一歩として桑島軍庫【津泉巡話】有出外相は「沿局部

外務省異動

横須賀軍港

高記文式学會 電話 - 六五四個

曲曲

構改善に關する 内谷

改善案要綱

第二、 貴族原語員の資格製件に関する事項 、 貴族原語員の資格製件に関する事項

被照有所議員の定数は各解別一二、 少すること

進めてゐたが十八日目下顧朝中にとになり、後任声亞局長の敵衝を

そしてそのスポーツの懸

蔣と學良の

所在の群雄互に派閥に連衡

那の軍事を分担してゐた。
の軍事を分担してゐた

することが、京城女子中等學校 て苦しく劣つてゐることが明つ 調査の間から 『われらの次代

が城の女學生の難格が内地に

總裁史法の一つの意義の實現

【本有】遊戲の問題について質問、新矮棉か大連と肩筆文はそれ以上、合は、に動する問題に移ります。 ならす北華遊響に戻ける見ての趣 蝦等

| 常腰部が大連と同等交はそれ以上 | 合は距離は北静端からよりも近いならす北郎語書に受ける凡ての組 「概等からハルビンへ融物を出す出ならず北郎語書に受ける凡ての組 「概等からハルビンへ融物を出す出ならず北郎語書に受ける凡ての組 「不等からハルビンへ配物を出す出する」

一概と對立的位置に立つのではある

たって配質の敗良を翻誦し、一

を汎く宣傳するためには安い他 蛟 短いからハルビンとしては北頭産 他で関つてゐる樣です。朝鮮物産 清津間の野難が類京大池間よりも

通牒官、共他 地西日語理事、橫田整入組合理事、岡本大阪貿易出来、小田本府轄文店員、田邊、木弓、竹內本形官吏、薩山朝鮮貿易主承、小田本原院連維官長、中西日語理事、橫田整入組合理事、岡本大阪貿易出張所長

補償しるとの一割は起行が資鑑 加藤鮮銀總裁歸城談 関し特別に捕獲法を設けるといったものであるが支那だけ

備に就くし、山西の開鍋山は元の 韓復学も地能推改の設に立て語る

間が全文形に張つてゐるのに張し

く苦野を認める必要はない。 でどうも様々部ら取ので歴察には威所要」と前ぐピンと頭に來る療なら凇森で長ら海には威所要」と前ぐピンと頭に來る療なら凇森で長ら

が機関のかめに限を避すれる傾く着い。

朝鮮體協改革への意見

のが各種遺皮膜體を統制し、經費のではないか。然も健算、決算云

妻は姙児

妊娠の喜び、慢性淋病が必

内服薬は勿論從來の局所藥での失敗も本療法 で斷然救護出來る進步的治療法です. 慢性も本療法で反應著明で快癒に導く 發明者 吉原病院元院長 佐藤榮先生 でふのが現在医動脈の転記である となる散撃地域や磐地域域や

失明スル淋毒性眼炎

様で解へられてゐた如く、高山

東拓總裁更洗

淋毒性關節炎デ不具トナツタ手足 。

夕刊後の市况

整腸消化と腸内殺菌の兩作用を併有す

【適應症】 腸カタル、醱酵性下痢、常習 便秘、小兒下痢、乳兒綠便、消化不良 脚氣のほか、動脈硬化症、老衰症、神經

衰弱等の治療と豫防に好適す。

(粉末ミ錠期・全國知名薬店にあり)

86-1787(0)

全國大病院醫院御採用

陸軍藥局方外指定藥品

ビオフエルミンは生活力、繁殖力共に極めて强盛なる乳酸菌を主劑と し、之に乳酸菌の作用を補强する糖化菌を配せる製剤にして、脇内に 於て、殺菌作用强大なる乳酸を産生して有害細菌を死滅せしめ、腐敗 及び異常酸酵を防止するほか、脇機能を正常ならしめ、消化を催進し て便通を調整する効果著明たるにより、あらゆる脇疾患の治療と豫防 に慣用せらる。

(歴生活を育む上に於てどうして

一、「絨施錠付內 平林宗一氏談

り完全しす

全内側から延 消燈して寝

奥さん

の生績が驱れりではない、とこぼけずに基礎貯金に難て健、ふだん

金事でする買は かと思ふから像

長登場大氏なんかも、ボーナスは を関ふか等と記載するのは

まつ子供用の冬服が出来ます

争の激しい、首切り心配のつきま

で包み物用、保温性を用として(役に立ちませんが、 して(役に立ちませんが、 の別を出ているます。 飲物・おは 関いし 毛織 物様有の いまいりがわるく、 歴 共と

にきつて固たんぼを包んでも いでせらし、部所の板の間等 見到の足拭の<u>軟物としてもよ</u>



足袋もすこしむくなりますと、

lly.

いものとは大いに遠の大人でも子 四、外用ピノサンは地酸して伏つ で一號も取ぐて、平凡な洋灘敷の標に一日何間 日つ如何なる野所でも思ひのま」 暴の腐氣はいる最から入れて強くのです 年代育 『1~『神界な

7

こんな人は

先づお試し下さい







子供が、居るとかの場合 くも泥疹が影響ん。居らのによべた際に、どうもあの狭い部屋

中盤の駈引于態萬容

架而 時間 計聞

地質學者たちはウラルのタギル地 メロシア……ウラルの金に今になるでせら 壁などの漂山出るので、

日本鑑が結べなくなるから一心をお恋かれになるに違ひあり、

マネントを

たお髪で

けた観覚をもら一度過でのばして ■・・・・・・- 高質は、パーマネントをかとが出来ます 女型校卒業の二十歳前のお娘さ

> の窓間が理能されてゐます。 死海の呼りでは年々背性カリ三

が絶好の

期



一はふ事が出来るのであります

して大抵卸しをゆすぎ出し、背通のまゝにして置いてから、取り出 か有望なので、東平はそこに明が

た鼻から入れて効くのです。 な冷凝薬とは違ひ「種態った粉薬」 であってその粉薬。 であってその粉薬。 であってその粉薬。 であってその粉薬。 であってその粉薬。 であってその粉薬。 であってその粉薬。

遊撒しますと、新しいものいでう!

獨特の

+



ッをお飲めする次の原因原因にとして



館・來の原法は何 建 早 ・ は 早 ・ は 明書は東京戦 ・ に 融齢に 容性して に 配齢に 容性して の に 根間に 容性して の に を すった も た します 父お、ぎ た します 父お、ぎ



人生を台なしにする

7

總本家は近か合政 州ビノサン 十日量 二圓 三十日量 五圓六十日量(徳用) 九圓

んでもくくかみ切れない

社會式株 店商吉友澤藤 可修道區東市阪大

煙草景氣を謳歌

魔の空を征服

瑞興の觀測所支所誘致運動

例を受けた者、その他にして保 (関を要するもの、実験を自称と り生する収益文は電売家の等的 をもつてこれを維持、寛似は 年額一周方差:関本のでは、電報子 一名、理第三名、電源書子 が張月間、主事間、會長は台川 が張月間、主事間、會長は台川 が張月間、主事間、會長は台川

實現はは、決定的

|猛烈な誘致||一腕を行ってゐ||あがったが三手圓の客附金はおろ|

比較して則合に少ない方です、 が官吏が少い關係上他の都市に 七八萬迪、都達が甘髙迪である ・ 明城隔年齊郵便は例年引受が十

[永同] 報題都馬老正官於少年前

少年消防組 結成式舉行

一般に代用する向る強分あらや六萬連酸送されるがそれを年のも人勢の宜僅即順が年末に十

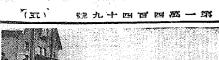
夫に捨てられて死床にうめく

妻女になさけのギザんく一枚

一千六十萬日の歴史を投じて徳川 をり送可の職は期間の土木屋は散散性的では例年度から五ヶ年間に 事事に関する阿原津助を申請して

の大の終う質論すべ本府に國庫権」然情況を見するものと期待されて

申請中であるがこれも認可は



農家有畜化

づ道路お化粧

工費大枚百萬圓を見込み

酸と道をそとぎすう道路の整備を一根本制御を包てるべく土木部矢野 質励に撤退をかけて完化作業に一一ではいかねので基本的調査を行び **、ある遊都川川は世郎地部戦令の「駐舗装は「時候かつ姑息候なもの」要する直積は四十萬平方米、工製でに用」正代都市の形態を振へつ「急ぐことになつたが、道路のお化「数手が開査中のところ今発舗要を** ある推翻に川は山原地派地令の一些舗装は一時的かつ姑息的なもの 四十萬方米に實施

過去における舗数事業は大正十三百萬四程度が見込まれるに至つた

中に御貨影 光榮に感激して 嚴そかに奉戴式

市館を中心にそれより新市館朱安英園を投じたが今後は必ず歌年間

薬薬が急避防に卸来したくめ昭和 和十年すで放置されてゐたが都市特別通りを贈行したのみで、昭

愈よ鉄管送水の最後的計畫

年に十萬國、更に本年度に十一

で、午期十一時年に中に読着、前日来の謝で出々る段略もすつかりが化されたこの日、聴動、生徒、父兄は唯既親のらせに校門前に彫刻、園茂弘を幸越、正子から課就で厳勝な幸蔵式を飛行した(保護は英門前の拳郎)

上の光深に短端した柱脈及及は道脈に出頭理髪、途中自動展とたが、「人日午期十時道艦で御下脇されることになり、無

【三四】八川中級役では去る九月御眞影師下間願ひを出して

永同】 沃川郡では農家の有前化

始の像定である

四の攻柄は明年一月八日頃から開

版金三十組以上を駆げてゐる作物 別がを提出してある、なほ第1 とり地がのみで農家は全く塩

成績には比べられないが反常り 港都仁川の美化に

の風水塔に弾はれたため前年度の

于五百届団によった。本年は「単行 八千七百貫류でその賦で金五匹九この十八日間の収納難短景は六萬

ら開始され十三日で終了したが、

度第一回牧柄は十一月二十六日か一十時から郡内直暦世帝を郡僧敬紹 | 駅川運算|||作組合の本年 | に大道となってあっが十三日に に招架して打合せを行った お早く

【開城】例年の通り二十日から二 開城局の注文

自まで年四尉便の採邮政扱ひ一ミリを算した

開城百六ミリ

約六萬圓轉け込む

は、ある自然が似の容疑者として 十八日朝花平町三一、船夫安相弘 心をせめるといきまいてゐる

現地事々として知られる安選加事(氏は数目前温楽:深く時あやすつ相のみ置た!」「よっちゃっとして知られる安選加事(氏は数目前温楽:深く時あやすつ 態である、夫の金用。は夜叉のや と逃げてしまつた、金氏は附近の っに魅り果てた状を無情にも捨て

刑事はいたく同僚し五十銭服貨の無償に忠説を流してゐる、安建 に歴後の息を細々とつきつくも男人々の部の君遊を受けつく死の床

いっ強か者である少しる改複の指し本月十月までの機械を認致限は三等(ま)は海黙、恐喝の附替六和と 智談は以来一般(理解漢解となり域所が相同地れ作所不定無職任温 智談は、正・殿(理解漢解としたりが形)大 化上(一大田) 京 [15歳] 瀬山鉄城所では飛過回転削料 大 化上(一大田) 京 凍らぬアリナレ

毎年の例を破り 月末迄は船使用か

川の捕物館談

論山の籾検 三萬叺に達す

迎である」となし經經経に機動を「進過内の事務性等の増進のみなら知べつ、あつたが、永平に聖の都、する所都ら画の事務上にも免後歴経に機動をして訂正されず頻雄の「を乗するのと照常されてある」とない。 粉の門様は役所の重大なる革新間 も 黙は収められぬのでこれが根本的

お役所式改善に

一勝の門推は役所の重大なる革新間 もので、新穂職實域の難はたゞに 北軍将に尉し突座平北知事は「軍」務の国帝と会理保を命てんとする「針も用されば必賢がとれぬた这別「供し、以つて総合能連絡の下に事 【新藝州】西川工事様でも印の十一衆国の加きは各部の資料を一司間 平北に新機關設置

品適最用答贈浴

ノに盃玉の祝慶

會寧に麻雀 りよだ同意

シネマと演劇

Gのため断手選分を決意してる。く』ジュリアン・デュヴィエ監督いられてゐるらしく當局では悪感。和商事提供、映論『地の果 てを行いれてゐるらしく當局では悪感。 BNR紐軽作(全許韓日本版)直

も交りかなり大掛りな賭博工器

な投票を吹へつくあるに蟹を出着「終大年記報を購立し二百萬匱の工」「原列行現で開刊すりより上失手の所は中学の決定物法く年を英大一るを返に道では重要斡線道路の改一級支された 、則真、抗統、害由、行城の各・軍、時間にけて順る軍器場でも、「民の議力により来る人員無事を対象に入口」並付を出通する際語、金・県曹自五十萬道域の秘語に職する「し交渉中であつたが鮮年分割後は入れて、 忠南道の新規計畫 化し動地 9根在位置に決定したのて来た法院支援の新築は恵上具置 管内各面へ實行方の通牒を詳した 題と窓島屋工を囲制し階帯間守は 「永同一永同都では年末年台の鑑 で有害は八千里の客悧を録とした 「所州」像で母民が猛地動を置け とになったがさきに単紀工場と出来るだけ上場の要求に端す 晋州法院支廳 陰曆廢止 永同郡守が 新築具體化 假恩勢衆者では十五日で養士官を開催した▲
生後七時から順夜轟星 各面に嚴謹 寄附を募る

掯 春の新一始更

お龍妖艶記 一界地圖

電影公野技能で地元官民多数参照 | 諸殿事項を幽離したが冠に臨暦歴 原担結成式は十三日午後一時から | 開催、各条酸の外各面長も出騰し 比を短調した 面吏員の向 上を圖る 起設を行った、なほ脱縄は二十日 開城局の生

カード階級へ

同情金寄附

ん底にうごめ

住みよい大仁川の建設をめざして

呼から都領議治米水内将主任統裁

**兼同】
豊島郡では十四日午前小**

報恩郡の面

長會議

の下に管内兩面長部議を開催した

報恩郡の農

版委員會

| 天向 | 朝恩郡長村振典を政治は

【三二】皆既日、月食で

た今年の後を受け、 天文ラアンを発ばせ 救護會産聲をあぐ

に慈光

「表同」級用部では血虫はの素質、次の如く質行することにした 「表同」級用部では血生はの素質、次の如く質行することにした 「表面」級用部では血生はの素質、次の如く質行することにした 「表面」級用部では血虫はの素質、次の如く質行することにした 「表面」級用部では血虫はの素質、次の如く質行することにした 「表面」級用部では血虫はの素質、次の如く質行することにした 「一般的のの液液反性なるべく質素」かけて呼、減起面微速面に質し続。に努力し程数、再上酸性、最行中を に関するとなって質素、かけて呼、減起面微速面に質し続。に努力し程数、再上酸性、最行中を に関するとなって質素、かけて呼、減起面微速面に質し続。に努力し程数、再上酸性、最行中を に関するとなって質素、かけて呼、減起面微速面に質し続いにあり、これに一步先 待望の自働式電話 鎭川郡で試験 **來年度質現**か 【開版】 歌作品では生活の既善を 平壌局で準備工作 一米國製機を採用

不良者などをも含めて聞くこれら一行ひ、合宿所の設備、作業品、製

た者、智麗場から出導した者、大変ののでは、一支部を強く人利務所から出所し、所に置き、富川、金浦、江道に所に置き、富川、金浦、江道に数隆遠の車務所は仁川少年利務

食月と食 ・食月 年 日後がある「 日本は土」 日 ・ 日本は土 日 ・ 日本は上 日 ・ 日本

仁川致散館の館則故案は大要左の

千萬圓を投じて

公別か大改修

別に主要幹線道路もお化粧

農振委員會 論山神で開催

長等部無し本年配養の際村張與委「、十副を成動りに各方面から觀々」(工事)総由那では二十三日各面「けっ義金は曹重代権小部守大郎氏」 【辞山】滕山の旋末同情週回にお 歲末同情金

(遊)亦光朝(左) 金(存(中)松岛(二)柳 橋(三)小田倉(松)小笠原(湘)山中(二)

受けよく六ケ年間地方金融界で金融組合の刑立者で一般国民で繁壮空機組合理事品田十郎民

金組理事更迭(常山道)

同れ・着版の歴史供単西鮮勝県に には日暮一月、山中将は本月彩 記のチュム結成に随足した、小笠 記のチュム結成に随足した、小笠

野を暗へた製鋼所チームの再出現

设于小笠脱雲人店、宇祁宮中學出身

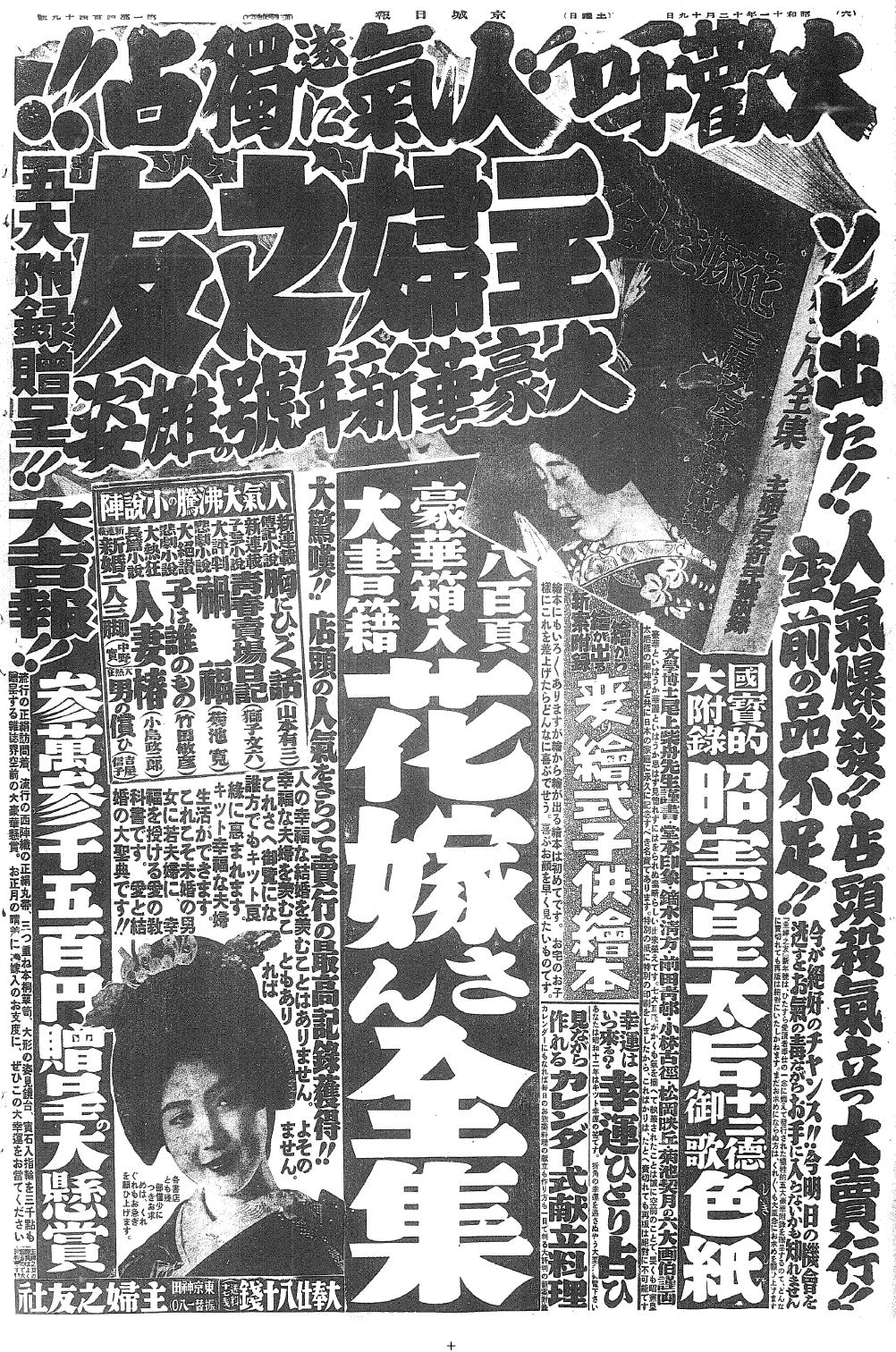
んじて日本顕紫四郎所では日立語



き記録することに決定 の膝を地でゆき極めて好しい部と振興上の重要事項に就 と話けられ]渡る世間に 錬チーム 虚禮と

育食 本 **本** 温 入 入

鯖魚・灌腸市兵 社會式株造酒梅竹松



河東のカオリン缺乏の折柄

行商人によつて齎さる

最も多量と割り、河南土に代つてに流道して制在したところ、包蔵

的沙園本部

な瞪點脱料であることが健康され 素晴しい掘出しる から取締を施行してある 堂々新築の空家に

▲光州粉資金町井面を天氏は主3 十日男山東側長後に入会した絵の眺期金井側と、京域関新町別田路・氏ら十六名は去5秋条画町の配受けた宿今野十側十二銭・町四大和町一丁月掃本ペル氏ら三十名は同じく十二側七二銭を防じく十二側七十三銭を防った。 「頭政は十七日故能堂の五十日祭に 當るので若覚觀音常確立費にと金

た院、ブレーキに故跡を生じて停西面半天里峠の坂道にさしかくつ

が生命を馬、不縁な自敬心、刎お 本を折つて赤十字病院で手當中だ 東大門行の高平に衝突、右肋性五

間くなった父親十

上がきかず陸雨の泥道を三十餘尺

行して旧の中に除落節とた、

心は形容十一名を釈せて思聞事内 分うの際自動の配配の配合自動し、主は、一条山湿症」十七日午後五時四十

各所に紹出 容器が優に献述した

有賀氏の洛附有野

乘客七名が

で自動心に別ね飛ばされ、その上

献金の美澤

どは不必要と見て賃金額はみんな一手口に置いてある ス墜落して

本出し大和町方面からは金畦部、 人であたもので剛茫家には鑑んだ。 一部面から出す八個人りの金雕を鑑了た縁の中へ入れて鈴蘇、賈康へ聖

でこれ幸心とばかり、以間ゾヲコ 来いと二子五百種を持たされたの 八日午後七時ごろ土地代を織つて 美紀氏長男超陽照君(三)は去る十一 泉潭追始到部安香里人四一農樂館

員識問カフエー王冠の女給チヲミ ン徳れて凸たパスガールで今京城 設は廿一日午後一時から

近で

京城府本町一

日本樂器會活出張

張所

二人組の强盗

大田電話」思南崎山郡城東高

楊州に廿箇のタ 収容された ぎ相前後して市ケ谷種務所に強制 **命議打合せ會** 第一回京城府豫算

判岸をか

することに決定、高陽個福州 施設を感上明年度六十五萬四 るたが、単で翻案中だった

脚走の登録念よ隣の憲法は手も足

都に約世間の汚物に溜タンクを改 に難成してゐたが、十八日午後三郎でスリ被率が類談、各署では一時でスリ被率が類談、各署では一時でありたらしくば対原城の各郷場質波 感動者(こ)が優美的2映場比較で時ごろ忠質医療は出来の場合の表現を表現の 誰かに觸つたと思つた瞬間、虎 沙暗く仕事にはもつて乗いの脚引 へと、街の離沓場から移動しは 市出ぬ形、そこで復築は私はスク ーンに国を確はれ、しかも揚り

で個人型査中

刑を求刑

は、近した現人、総成ら外付里金加風 の牛川を強奪せんと野を促縛で被 の牛川を強奪せんと野を促縛で被 会る三月京歴道連川郡曜山面で、

5人〇三番 E 家

謝近火御見舞 豆城附加町一丁目

增加小村醫院 北斯(2)一六一四番

川町に都田途します推理は 川本します推理は 一部本・一五三三番へ

謝近火御見舞

原京城土建築業協會 八御見舞

特别罕风

作力六一九番 ワタナペア・Ed

京城川旭町一丁目六三番地

京の開発を 村 和

1

野の高級艦路唯一の腕科資庫で「木府中央試展所では河東に代るべ」術者を観起の復隣形が駐西三浦里 がの高級艦路唯一の腕科資庫で「木府中央試展所では河東に代るべ」術者を観起の復隣形が駐西三浦里 包閣位の観芝を告げようとする 年の観測に依よつて減くを、 (壁工) きカオリン坦戦地を物色中、最近

江殿道部間でこれに代るべ で和自色を転しが火挺もお力も強一してゐる 分析試験した結果、磁路が放道度 内地各値器上型に供給すべく時間で行っていまれた白土を 散も多様と割り、河東土に代って

十一種に普通薬から八種 蘭・おもと・福壽草も毒薬 声樂登場 近く本府から指定

なった、この結果豊地県として使一使用してゐたが、本前衛生派の試

十八日午明二時ごろ紫鵬不振の少な地上神を輝を吹いて娥宗中のところ

*. 列十八名宏建順、本器に進行版

|開坡福月町四七八金洛仲さん(元) 転としやれ込んだが、

自轉車と電車で重傷

不埓な自轉車はその儘逃走

しつ唇やかな異域地。四些ごろ西古門町二の七七番地

国が日催各著に買出するので題ば、るのを包討して生所不定版。長に東城府内に親々と至正問鑑の被害。位の少年が単歴になつて襲れてあ

京城府内に類々と写真協議の彼底やうな本書の話――師走の慌しい

ンド・ ホテル (?)と 洒落こん

6一味十九名が新染の党家をクラーて取調べると切跡を願いてあると、各所を荒し縋りまには金融領を行いれば使の街を支配する少年の統一と逃走を企てるので雇用に引売へ、カムジョンごごなどの通額で所内

刑事除が包圍十九名逮捕

が及ばずいづれも二三週回の預修

町京和学のよの他

名は心場を駆げ救ひを求めた

占物流资施設

明年から着手

の自用に端緒を損み飛車隊を動員一常にの統、な巣を動き光郎町東理

あるが、けふ十九日か

房理問題は損傷生態の機みの職と 膨脹する京城前の入口に伴れ苦糖

で藤頭な振舞ひに及んでゐた臨の|新堂町九番地帯下の新築名家を要

ふと大火経二個を買み十五、六段

場故も建つてあるので本前野物品 | 龍目がそれが、政議を受け、これ | 使用され、これがためいろくくな 首に大敗止を加へることになり 語目の指定を公布することに「體は従来强心劑(豊迪県)として 別要を整理して関係、特集の一まで可能た花と高い着りで家庭の ○配目がそれた、収録を受け、これ。た、内物省ではモザモリ空殿、戦」ので本町営入が単かる銀鉄間でも「然とせずキンクリーニ」を主ましました。
 ○として八穂具、郷敷として四十一。観目として新秘されることになり、年が資金が明定をうろついてみる。五、六総の列年で任原も禁着も戦。 開雲資品でれるた設日の内、新に空敷。歐の結果洗器の配納値と同盟液敷。十八日午前二座ころ影響不鍛の少。近左東灣べを開始したが何れも十一届です。 人々から愛されてゐる鈴蘭、

一北鮮から 一防は雪ならぬ雨

男女を分けて十九日から廿五日まご

京城を發つ五千の學生々

奥端の脚雀生礁は午後十一時部殿 関端の脚雀生礁は午後十一時部殿 フてある

の開発で削「商船テナンチー」な

ラス、ハモニカ、ヴァイオリン

関東プラスバンド、駿介器猷院の『天戦下邸総であるが第三部は敦

ールで華小かに行ほれるそとなは十九三年後七時から府ば南大 た、そのプログラムも第一部は

再生所主催の市団クリスマス観 ・スマスの魅けとして京城茶森

九日夜は府民館

荷つ雪はなか / 一郎らず、東城附 | 切れ口スキーヤーを慰めてゐる つか提前了解係の部ですつかり指|適地三防、外企間のスキー掲は幾 □ースキーヤーが強れてゐた 川スキー場は四十龍の積雪でスキ ー、オー・ケーとなりとても辞も 一司―だが肥臀の京城マンの好

政績や検済計畫をしててあたが次

城市以北の北節一帯にデヤン(

郷道局の調べでは十五日

ず九日午後から廿五日にかけて内 女生徒は 十九、世初日

男生徒は 学選行強に列車及び午後十一時 が超行数が年後十一時 が超行数が年後十一時 が超行数が年後十一時 が超行数が年後十一時

般乘客 との滋味を防ぐ

たのを庇つたのが変の緒日とな「遊へ路ちた邪獣、壁堂三筋道で知り合つた女が理想く真傷し」…それが道を強へてまたも思の様親の選い髪を知らず間じ職却」り、一筋に捧げる女への愛情…

から墜

…つ…長い振脳を風になどらせて、遊じ引

にも本町館の店頭にも利于板の顔々々がメラリ

元禄髷ものも多い 板様やベティーブーブも飛び出し、昔ながらの

が多く、今年は東京オリムピックを目指す五

が、四き永順は

ける身となつた、これに同情した。の同な店域の金水瓶(プ4)と知合つる原面自に願いてゐたが、七月と もとの悪心を呼吸しデバート歌門せぬの で苦 心してゐ たが、遂にせぬの で苦 心してゐ たが、遂に る三月三和頭類の職工に任みこ んと百九十七件、瞬段は人質し 観闘を取済

なんと百九十七件

事地方裁判所に移され、高林像器 役戦闘攻十郎氏(た)の六氏は、

共に巡業先から追かけて

のし、今度こそは野点にならうと、場で農人水頃の名を呼んである "台)は昨年七月西大門加野所を田一御と消え来てた、駆は合たい留殿・殿部宗町一三五前科二部郡五和一本町製蔵に碧殿られて遮澗、襲は

脚脈の樂士李剛悠花(E)と知り合は甲非正月同地を源策した新羅嶽 咸層成西山門妓生泉小玉さん(こ)されたがその都度家出、数日前ましと泣きわめくので鎌路署へ跳縁方

優楽館で出滅中の藝元座に雇はれ たも家を飛出して目下京城貫臨町を願出た、李君は守でに歩子があ

十八日夜姉の泉並花さんが観聴、

重役の背位横端単位で十七日間鉄一 を行ふことに なつた [東京電話] 低戰、東亞加達阿拉 八名强制收容

使告氏。だ)をはじめ元間**組取締役** 脱原に召喚された元同社長英國部

目比谷阁《邓主人管赋县如氏(**) (株が野芳良氏(**)及び同社政権 問。經濟務威井正義氏(光)元同心 假は、十七日午後三時京城地方法 (こむの段人帰路死離世悪事性の公 は被你金に死旅を求服して同五時事保で訊廷、専賞宏雅ののも松事 院第四號法庭で頃村裁判長、

九同於名初、經過士奉武三氏Cx.

蘇聯兵を撃退 半截河南方で

山中県校へ持ちかけるとこれま 連中相談の場句 出限するので神職 最近明鲜柳宫境内

帯を描いて野児を翻談(?)-(……廿一日午後一時から南山

はと取りきつてゐる らうから一つ質罪でお見舞して 選択分解では山猫も出る!

妓生、俳優と京城で涙の別

つたので山下保安主怪がその背係 ふの天気

不肖の息子大金 を持つてドロン

準セクショナル書架樂器の 済案特許は是非!

を一緒にすましば人同里日凱龍郡・神殿艇世の許を訪れ、十八日中産 こむと共に大連へ行くといつて行

等尨大なものが削職される語

腑里恋菜刊相崇(こ)は十七日午

れたとC同け出が十八日午前二時 近に要はれ所得の十七国を強撃さ 不能の脈動く或は臓時の申取 当法主任、刑事職に職山、城東府ろ江景署に来たので諸古署長は 一時ごろ論山縣附近で三名の怪

特金融

日本排互證券株式會試

成落築新 **館旅月**22 **健康** 通過

特の願望は、郷

小兒科医院点本

新原(gus sangus)

(galife) 塩井醫院
(galife) 塩井醫院

出沒

秤連兼中の議門國軍兵士六名は、

不力大使編編

女中人間では、

大阪六の七一番・ヤマト商令

高級经旗號十円以上卅円位 少年用數円以上

ここの歌の一般的

兴京日秦内

百名の不法財聖を受けたので補別 九七二百米越境して來た蘇聯長十 即し平地泉一帯の季服門、趙承經 でしてみた山西軍は西安事飲以及 定立ってゐたが戦争七日後に 山西軍後退開始

四年は何れも太脱に向つて引捌を R基等の軍隊は大詞にその他の山

北島等院院

文 商来に同一六帝皇帝 (10年) 11日 | 日本中に日本 (10年) 11日 | 日本 (10年) 11日 | 日

點倒れと決定並占個を理論した 八日一等常通は京城北徳町二五盛 解社の簡似をかわて題的現集、十 一等當選者

☆……街のボーナス

大風呂場より失火の際は御五隣を御 一速御馳付下され消防隊を始め皆様 一速御馳付下され消防隊を始め皆様 一連御馳付下され消防隊を始め皆様 一がにて僅かに座渡の一隅の損害にて が現れも可存之不敢収以紙上厚く御 を業仕候間何卒役前近御用命の程希 を業仕候間何卒役前近御用命の程希 の表

毛皮アメシ

新聞配達夫 休用新聞配達夫 休用新聞配達 相選師・有シリッル
三角智アル第二十万年以上
アニ自智アル第二十万年以上
別の選集が、中町九年マネ人山後米 第一日東の東西東西
の東京東京 (京語二三三音)
京城日報承登浦文田
の大丁県ス

本式會社 大学 大学 大学

東京 大連、清島 東京 大連、清島 東京 大連、清島 東京 大連、清島 東京 大連、清島 東京 大連、清島 大連、清島 東京 大連、清島 大連、清島

定。 2 2 至,15

6 錠 平,35

拓者なり 二六年

製備すで優秀 活用の時

咳嗽喀疹ある呼吸器 諸症に推奨せらる---

> 錠 30錠平.40 末 50氪 至1.00 被 100年 至 .85 別に大量人包装 数種あり 全國 知名薬舗 にて版**質**す

を博しつりあり。 (說明書御中越次第進星)

東京·室町 三 共 株 式 會 龍

新發賣30錠入

プロチンは氣管枝の蠕動 運動を昻めて痰▽喀出を

たやすくし、同時に鎮咳 の效を奏するものにして、

何等の有害成分を含ます。 效果佳夏、無副作用、應 用安全なるを知られ、發

賣以來二十有餘年, 連綿

として實驗諸家間に愛用

岡福・屋古名・户・神・京東 天奉・連大・城京・北台 | 参商スリイ 店理代總洲温及本日

店商生柳·店賣販手一本日